



2019年8月21日号
夏季号

vol. 59

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所: 一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者: 広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <http://www.j-flooring.jp/>

平成31年3月5日(火)午後3時30分より(於: 浜松町東京會館)

 平成31年度通常総会を開催 

都市部におけるフローリングのPR強化に森林環境税の活用を



あいさつする市川会長=平成31年3月5日午後3時38分

市川会長挨拶

「平成30年度の合同PRでは、マンションの新築が減少している中で非住宅木造建築物、特に文教施設の木造化やメンテナンスを実施する際には木質フローリングの採用を重点的に取り上げて活動しましたが、平成31年度には都市部の市町村に森林環境贈与税が新たに配布されることから、都市部の施設整備にはぜひとも森林環境贈与税を活用していただき、木質フローリングが採用されるようPR活動の強化を図りたい。」と挨拶した。

平成31年度の活動計画では、時代の要請に貢献する木質フローリングのPRに森林環境贈与税の活用を取り入れるほか、フローリング張り標準仕様書(平成27年版)の改正作業を行うフローリング張り標準仕様書改正委員会の設置、施工流通部会によるフローリングジェネラル講習会の開催等を行うことにした。



フローリングジェネラル講習会を沖縄で開催

令和元年7月19日（金）

フローリング施工の職人不足に対処するため、木質フローリング検討懇話会で検討・提唱し、3月の総会で了承された「フローリングジェネラル講習会」の第一回講習会が、令和元年7月19日（金）沖縄で開催された。

施工流通部会が主催し、東商会（沖縄県）、施工流通部会・技術委員会の関係者の総勢10名が参加した。

講師は佐藤技術委員長（佐藤工業株式会社 常務取締役）、外瀬副技術委員長（株式会社ビスムカンパニー 代表取締役）が務め、（一社）日本フローリング工業会が発行している『フローリング張り標準仕様書（平成27年



版）』の解説や、今後予定している改訂のポイントの説明、チェックシートの説明などを行った。

森施工流部会長（三勇床工事株式会社 代表取締役）は、この講習により施工方法及び施工管理を一定の基準で統一し、作業員や管理者のスキルアップに繋がってほしいとした上で、今後は各支部ごとや必要なら各会員単位でも開催を計画していくとの方針を示した。



阿久津 聡 新専務理事ご挨拶

この7月に一般社団法人 日本フローリング工業会の専務理事を拝命しました阿久津（あくつ）と申します。日比野・前専務に引き続きよろしくお願ひいたします。

出身は栃木県です。大学は京都府立大学農学部林学科を卒業し、4回生では木材の急激な乾燥時における収縮の変性などを調べたりしましたが、今となっては赤面ものの調査内容です。

昭和57年に林野庁に入庁し、20代前半は青森・山形で、後半は本省庁で係長を経験してから、30代では栃木・群馬の北関東で国有林の仕事をしました。

40代は主として林野庁本庁で、法律改正や国の制度改正への対応などを担当し、昼は国会、議員会館、各政党本部などを回って、調整、説明、調整、説明、また調整と説明を続け、夜は庁内調整と書類づくりといった日々を過ごしました。

こんな生活の疲れきった心身を考慮してくれたのか、50代になって、地方現場に出してもらい、富山、愛媛、兵庫の各森林管理署長として自然豊かな環境で仕事をすることができました。これらは一県一署の森林管理署ですので、各県庁の皆様と森林・林業・環境の会議・打合せを通じて、様々な関係を築くことができ、地域の意見集約などに少しはお役に立てたのではないかと思います。役人としての最後は、群馬県沼田市にある利根沼田森林管理署に勤務しました。群馬県には森林管理署が三署あり、県庁所在地でない郡部地域での独特な濃い人間関係にあって、今年三月末の定年退職まで楽しく仕事させていただきました。

これらの転勤は、全て家族を伴って転居したため、子供の学校や地域社会と関わりを通じて、単身赴任では知ることができない地方の様々な風物や人情に直接触れることができました。このことは、職務において地域の方々の心理を読み取りながら調整を進めることなどに役立つものと思っています。

フローリングの関係業界は、いくつかの資料を見ますと、時代ごとに大きな変化しながら推移してきたことが読み取れます。今後、会員の皆様のお話を良く聞き、時代の変化に遅れをとることがないように、日本フローリング工業会と会員様の発展のために鋭意努力していきますので、よろしくお引き回しのほどお願ひいたします。

新規入会会員の紹介

（令和元年7月30日の理事会承認）

有限会社 建造は令和元年7月理事会で正会員として入会が認められました。

有限会社 建造

住 所： 沖縄県豊見城市字嘉数386番地

T E L： 03-3684-0032

代 表 者： 代表取締役 我部 慎二

設 立： 平成12年9月

業 務 内 容： 木質フローリング等の床工事施工

所 属 部 会： 施工流通部会

所 属 支 部： 九州支部

フローリング張り標準仕様書の改正作業が開始

(一社)日本フローリング工業会の平成 27 年版フローリング張り標準仕様書は、フローリング施工の業界標準書として活用され、フローリング施工の適切な実施に必要な不可欠なものとなっており、これまで JAS 改正のたびに同標準仕様書も改正されてきている。

平成 30 年度にフローリングの JAS と国土交通省の公共建築工事標準仕様書が同時に改正され、(一社)日本フローリング工業会のフローリング張り標準仕様書もこれを反映したものにする必要があることから、フローリング施工に関係する建材、施工、副資材関係のメーカーの専門家 28 名が参加するフローリング張り標準仕様書改正委員会が設置され、佐藤委員長の元で検討が開始された。

なお、改正委員会は、12 月理事会に改正標準仕様書の(案)を提出することを目指している。



第 1 回フローリング張り標準仕様書改正委員会
=令和元年 5 月 22 日 (林友ビル)



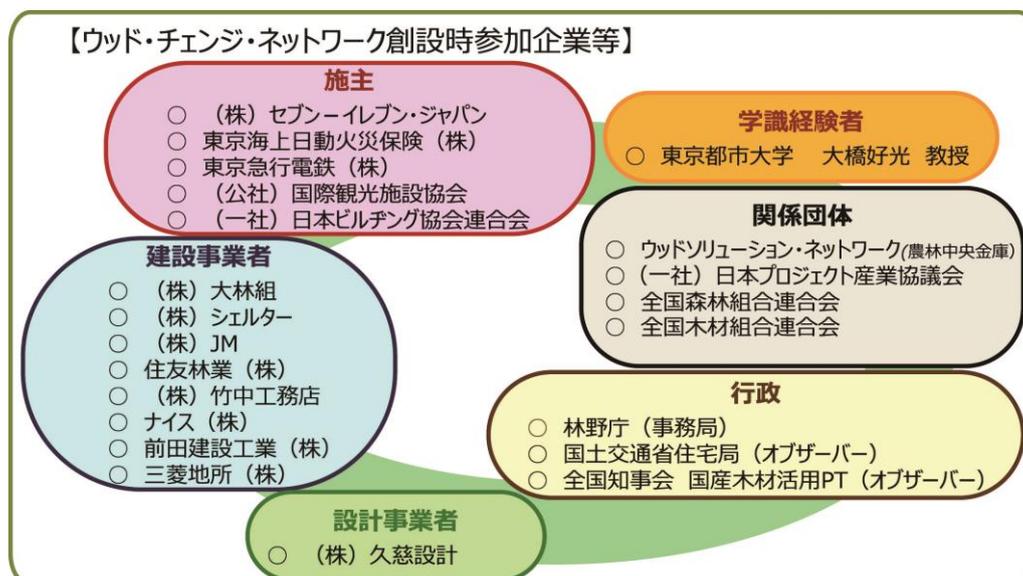
第 2 回フローリング張り標準仕様書改正委員会
=令和元年 7 月 29 日 (林友ビル)

ウッド・チェンジ・ネットワークが立ち上がる

民間の非住宅建築物における木材利用を促進するために(非木材系資材を木材にウッド・チェンジ!)、林野庁が音頭をとって、「ウッド・チェンジ・ネットワーク」(通称)が2月に立ち上がり、4月には第二回目の会合が開かれている。

ネットワークは、民間での非住宅建築物に係わる「施主」、「建設事業者」、「設計事務所」に加えて、学識経験者、関係団体、行政が参加して運営を進めるものとなっている。

今後の具体的な取組としては、木材利用促進に向けたツールとして、木材利用の課題の解決方法の具体策、低コスト・短工期で整備可能なプロトタイプの見直し等を進めている。



(林野庁ホームページに会議等の内容が掲載されています)

北海道・東北支部だより

稲荷山 勇雄 北海道・東北支部（空知単板工業株式会社）

皆様、初めまして！

空知単板工業(株)稲荷山と申します。

今年3月に開催された理事会にて北海道・東北支部長を仰せつかり事の重大さを今更ながら感じている次第です。

まずは今年3月末をもって北海道・東北フローリング協会を解散した事を報告させて頂くと共に簡単ですが北海道・東北フローリング協会の変遷を紹介致します。昭和47年に道内の29社が集まり共同組合を設立、平成18年に北海道フローリング協会に名称変更(組合員減少のため)、平成26年に東北支部が会員で加わり北海道・東北フローリング協会に改称、しかしその後も会員の減少が続いたことと専務理事の確保も困難なことから今年3月末の解散となりました。

47年間、諸先輩が守り続けてこられた組織が無くなったことは非常に残念な事ですが、進化論を提唱したイギリスの生物学者チャールズ・ダーウィンの著書『種の起源』には“生き残ることのできる生物の種族は最も優れた生態能力を持った種族ではなく、環境の変化に対応できる種族である”と述べているように、会社や組織においても変化・変革をしなければ継続・存続する事ができないことは自然の摂理と一緒に思い知らされた出来事でした。

これからは日本フローリング工業会 北海道・東北支部としてだけの活動になりますが、どの様に支部としての意味のある活動ができるかを考え、会員各社の皆様の協力を得ながら日本フローリング工業会を盛り上げていきますので、今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

ひとこと

稲荷山 勇雄 北海道・東北支部（空知単板工業株式会社）

今年3月、国土交通省が公示地価を発表しました。

全国平均（全用途）1.2%upで4年連続上昇しており特に外国人観光客の増加でホテル、店舗等の建築意欲が旺盛な商業地は2.8%up、特に東京23区は6年連続上昇しているそうです。

その一方で我が北海道・東北は宮城県10位、北海道22位と健闘していますが、岩手県36位、福島県39位、山形県45位、青森県46位、秋田県47位と地方の過疎化による地価下落がより一層に加速しているようです。

しかし、最近の外国人観光客は都会や有名な観光地にはない、地方に残る日本の原風景や景勝地に関心が高いようで、当たり前だったことが当たり前じゃなくなる世の流れをいち早く感じている地方の自治体はインターネットを活用した地元PRを積極的に行っているようです。

最近見た動画でお勧めなのは、当社がある地元で「中空知会議」という団体が作成した【なかそらち移住促進PR】動画です。

ここは本当に自分たちが住む地元なのか？！と疑いたくなる風景なのですが、灯台下暗し、目からウロコのPR動画なので時間があれば是非に見てください。



●広報法務委員

委員長 石本 勝範

委員 佐藤 仁明 委員 矢野 伸和

委員 清見 謙造 委員 當舎 弘造

●会員動向 令和元年8月1日時点

正会員 52社

賛助会員 19社

合計 71社

●告知板

10月9日(水) …令和元年度施工流通部会総会(沖縄)

11月8日(金) …令和元年度生産部会総会(東京)

編集後記

フローリング・ニュースの編集に携わった11年間は、フローリング業界も需要の変動が大きく大変な時代でしたが、会員の皆様方に役に立つニュースの提供に心がけるとともに、会員の皆様からも貴重な情報を頂き有難うございました。

また、長年に亘って生産部会をお世話いただきました北海道・東北フローリング協会の小平専務理事には紙上をお借りして御礼申し上げます。(日比野)

